



会長/田中 達彦
幹事/與田 貴博



Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

■ 点鐘 / 12:30 ■ 例会場 / 山形グランドホテル：サンリヴァ ■ 出席報告 / 51名 (会員数 87名)

会長メッセージ

そこでしか味わえない芋煮のおいしさ

今日はJALの佐野東北支社長をゲストにお迎えしていますが、JALとはかれこれ40年来、様々な形でおつき合ひして来ました。現在勤務しているリンベルでも一緒にやらせていただいているビジネスがあります。

JALに乗ったりJALカードで買い物をしたりして貯めたマイルポイント(マイル)を全国各地の特産品に交換できる「JALふるさとからの贈りもの」というWEBサイトをリンベルが運営しています。商品の情報はリンベルだけでは集まりませんので全国各地のJALの支店やCAの方からもご紹介いただいています。東北6県からは100アイテムあまりが掲載されていますが、そのうち約4割が山形県産品となっています。肉類、おこめ、日本酒などですが、その中に「芋煮セット」があります。

芋煮会は農閑期に河原等で鍋を囲むという東北南部各地にある風習です。芋煮の中身は地域ごとに全く違いますが、JAL×リンベルの芋煮は山形の芋煮です。4つの具材(里芋・牛肉・こんにゃく・ネギ)と3つの調味料(醤油・砂糖・日本酒)という、とてもシンプルな素材で、料理のプロでなくてもおいしくできなのが特徴です。JAL×リンベルの芋煮は90日以内なら家庭でもおいしく召し上がっていただけます。

しかし今日のメッセージでお伝えしたいのは、「でもね」「しかしながら」という話です。山形では、芋煮会は馬見ヶ崎河原でもっぱら10月上旬から中旬にかけてやります。「日本一の芋煮会フェスティバル」は芋煮シーズン皮切りのイベントなのでかなり早めで今年もこの週末開催されますが、山形の人間は涼しくな

10月に入ってからやるのが通常です。11月に入ってしまうとメインの里芋が芋煮に適さなくなるのでまずやりません。わが家では芋煮にしないで煮ころがしにして食べています。

つまり、芋煮は、10月のせいぜい20日間の限られた期間に、馬見ヶ崎河原の空気と日差しの中で食べるのが一番おいしいということを知っているのです。その食材が一番おいしい時期が一番おいしい食べ方で食べる。私たちが「当たり前」と思っているこれこそ最高のぜいたくだということをもっと誇っていいと思います。東京にいれば、おカネさえ出せば日本中・世界中のおいしい料理が食べられますが、おカネでは買うことのできないオンリーワンの価値がそこにはあるのです。

それでは、このぜいたくをよその人に味わってもらうにはどうすればいいか?それはやはりJALの飛行機に乗って実際に山形にお越しいただくのが一番、という結論に達したところで私の話をおしまいにしたいと思います。



ニクニク情報

- 佐野 寛人 さん (仙台RC)
本日卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。
- 佐藤利右衛門 さん
ようこそ山形クラブへ!! JAL佐野支社長にお越しいただきました。ありがとうございます。

- 田中 達彦 さん・與田 貴博 さん (ただし欠席)
われらが阪神タイガースが昨日巨人を倒し、18年ぶりの「アレ」がよいよ実現しそうです。ご声援よろしくお祈りします。

四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやな)

- 例 会/毎週水曜日12:30開会点鐘 第5週18:00開会点鐘 ■ 例会場/山形グランドホテル
- 事務局/山形市十日町1-1-26-2F ■ TEL:023-632-7777 ■ FAX:023-624-5200
- E-mail:yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちらから

パスワードは事務局へ
お問合せ下さい。



『JALから見た山形県とは』

日本航空株式会社 東北支社長
(仙台ロータリークラブ)

佐野 寛人 さん



今日はこのような機会をくださりありがとうございます。普段は、仙台ロータリークラブの会員として活動しておりますが、九十大屋 佐藤様とのご縁から本日の卓話の機会をいただきました。佐藤社長、ありがとうございます。

いま私が支社長を務めております、日本航空 東北支社について簡単に紹介いたします。昨年4月、組織改正による支社化に伴い、支社長として着任させて頂きました。東北6県プラス新潟県が私の管轄で計52名の所帯を預かっております。その中には、自治体様・企業様への出向者18名が含まれており、うち4名は山形市、尾花沢市、鮭川村、山形空港ビルにお世話になっております。今日同席している山形県担当の山本も、今年の3月まで山形市様に出向しておりました。

続いて、山形県での日本航空の歴史になります。山形支店は、1991年5月の支店開設から、2010年4月に経営破綻の影響で閉鎖するまでの約19年の間、山形市内にございました。支店を閉鎖した以降は、仙台から山形エリアの営業を行っております。次に就航路線ですが、1979年の伊丹線初就航を皮切りに、札幌・名古屋・福岡、そして羽田線を運航しておりました。現在は、羽田線の朝と夕 2便、伊丹線の朝・昼・夕 3便の計2路線を運航しており、札幌については、フジドリームエアラインズ (FDA) さんとのコードシェア運航となっております。また、羽田線のうち1便は、国交省による「羽田発着政策コンテスト枠」を利用して、2025年3月29日までの時限的な運航になっておりますが、私どもは2便運航の定着化、ならびに機材大型化を目指し、山形県関係各所の皆様と力を合わせ取り組んでおりますので、皆様方にもぜひお力添えをいただけますと幸いです。続いては、現在運航している羽田線と伊丹線の旅客数の推移になります。コロナ禍に入った2020年は著しく減りましたが、昨年度はコロナ前の2019年を上回るほどの回復傾向にあり、山形発着路線は、私が管轄している東北・新潟の中で、もっとも需要の戻りの早い地区となっております。

ここからは国際線のお話になります。世界から山形を繋ぐJAL国際線の路線網でございます。記載されている都市とは全て同日乗継が可能となっております。海外旅行からお戻りになる県民の皆様への利便性はもとより、インバウンドでお越しになる海外のお客様と山形を繋げるものとなっております。また、2025年の大阪万博の開催にあわせ、関西空港を拠点に多くの観光客の訪日が増えられます。その訪日客を、東京・北海道など大都市圏の観光地ではなく、この山形県に来ていただけるよう、誘客強化にも取り組んでまいります。

続いては、山形から世界を繋ぐ路線網でございます。山形空港から海外旅行に当日乗継可能な都市を記載しております。羽田空港乗継は、荷物を山形空港で預けることができ大変便利です。仙台地区のお客様にも国際線利用の際は、新幹線利用ではなく、山形空港から羽田空港乗継をお勧めいたします。日本航空からみた山形県の最大の魅力は、充実した交通インフラだと考えております。この地図にありますように、空路・陸路とこれだけネットワークが充実した地方都市はそんなにありません。充実しているがゆえに、山形市の皆さまからは、山形空港が遠い、飛行機代が高いというお声をよく耳にします。皆さまの中には、新幹線をご利用されている方も多くいらっしゃると思いますが、こちらの表にあります通り、羽田線の最安値運賃は、新幹線よりも安く設定しておりますので、是非、飛行機もご利用ください。

次に、震災時の弊社の対応ですが、東日本大震災の際、東北で最も多

くの臨時便が運航されたのが山形空港でした。最大で1日17往復の臨時便を設定し、1日平均2,400名のお客さまにご搭乗いただきました。2021年・2022年の福島県沖の地震の際も臨時便を設定し、2021年には、当時コロナ禍で運休中でありましたが、羽田線を1日3便、2022年には、定期便2便に加え、1日1便を運航しました。東北地区と各方面の移動手段を確保するうえで、山形空港が重要な拠点となりました。災害時に迅速に空路を確保することも私たちの重要な役割です。

ではここからは、東北支社の山形に関する取り組みについてお話します。弊社は航空券販売のイメージが強いと思いますが、それだけではなく、JALが持つ強みやノウハウを生かして地域課題を解決するいわゆるソリューション営業にも取り組んでおります。東北支社が行っている地域活性化ソリューションの山形での事例をご紹介します。まず1つ目は労働力支援事業です。人手不足のさくらんぼ農家さん、ラ・フランス農家さんへの支援として、JALスタッフが選果作業のお手伝いをさせて頂きました。昨年のラ・フランス選果作業は、仙台から延べ39名の参加、今年のさくらんぼ選果作業は、東京・仙台から1日4〜5名、延べ87名の社員が参加しました。2つ目は、航空輸送・国内外商流事業です。普段は貨物を取り扱っていない山形空港ですが、6月限定でさくらんぼを東京・大阪へ空輸しております。また、山形県産さくらんぼの海外商流の確立に向け、JA全農山形様との協業のもと、バンコク・トンロー市場で、さくらんぼ販売の実証実験を行いました。3つ目は、現役の客室乗務員のノウハウを活かした事業です。尾花沢市のうろこや本店様と、スイーツのコラボ商品の開発や、山形市役所さまと観光事業社様向けのマナー講座を実施いたしました。現在、東北支社にはJALあるさとうアンバサダーとして、客室乗務員が1名在籍しております。皆様のお力になれることもあるかと思っておりますので、何かございましたら是非お声掛け願いたします。取組事例の最後になりますが、山形を盛り上げる地元球団のモンテディオ山形様、山形を代表する山形花笠まつりに協賛しております。その他、各地へのイベントへもスタッフ総出で積極的に参加させていただいております。

続いては弊社の機内における主な広告媒体のラインナップとなります。これらの広告媒体を活用し、山形の魅力を発信して参りました。

ここからは、山形県の魅力を発信した事例を何件かご紹介いたします。映っている写真は、毎月246万人のお客さまがお読みになっている機内誌『SKYWARD』にて、国内線と国際線で羽田三山の特集ページを組ませただいた時の物です。(2017年7月〜9月) 次に、国内線ファーストクラスの機内食を『日本の宿 古窯』の料理長様に監修いただいたスペシャルメニューを提供いたしました。また、機内ビデオの旅番組では、天童市の観光地を巡る特集番組を放映させていただきました。

次は、On Trip JALという旅のプロモーションサイトでの紹介事例です。山形県出身の客室乗務員が地元を旅しながら山形を代表する肉料理・魚料理をご紹介させていただきました。

最後になりますが、私の思いを皆様にお伝えし、私の卓話を終わらせていただきます。素晴らしい自然、食、酒、そして温かい人々のいる山形県に新しい賑わいをもたらし、国内外の皆様へ選ばれた地域になるよう、より一層尽力してまいります！ そのために、私、佐野が在任中に…山形の活動拠点となる山形支店の復活を目指します！

編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、いよいよ今週末の9月17日に「日本一の芋煮会フェスティバル」が開催され、本格的な芋煮会シーズンが到来しますね。今年も馬見ヶ崎河川敷での芋煮会は本当に楽しみです、こうした山形の貴重な食文化に積極的に参加させていただくことで今後も大切に育てていけたらと思います。(担当/筒井政行)